

倫理法・倫理規程セルフチェックシート (係長級職員用②)

国家公務員倫理法及び国家公務員倫理規程の基本的事項についての理解度チェックです。
各設問を読んで、正しいものに「○」を、間違っているものに「×」を記入してください。

番号	問 題	解答欄
1	本省で予算の執行管理を担当している職員にとって、地方機関において予算の執行を行っている会計事務担当者は、利害関係者に該当する。	
2	利害関係者とのゴルフについて、プレー代や賞品代などを割り勘にし、利害関係者と同じ組でプレーしないようにすれば、同じコンペでゴルフをすることも認められる。	
3	利害関係者からお中元としてなま物が送られてきた。返送する過程で腐敗することが明らかであり、返送したら失礼だと思ったので仕方なくそのまま受領したが、お返しとしてその年末にお歳暮を贈ったので、倫理規程違反を問われることはない。	
4	会議で利害関係者の事務所を訪れた際に、緊急に上司の確認を得なければならない事項が生じたため、当該事務所のFAXを借りて役所に書類を送付した。このような行為は、倫理規程上問題ない。	
5	立入検査で利害関係者の事業所を訪問した際に、お昼に1,000円程度の簡素な弁当の提供を受けることは認められる。	
6	採用されたときの上司で、現在は利害関係者である団体の役員に再就職している者は、「私的な関係」には該当しないので、一般的な金額であったとしても出産の祝金をもらうことは倫理規程違反となる。	
7	上司である課長から、利害関係者から菓子折をもらったので課の全員に配るように言われた。皆に配って自分も食べたが、あくまで菓子折を受領したのは課長なので、自分が倫理規程違反に問われることはない。	
8	同期が利害関係者から供応接待を受けていたので注意したところ、反省して以後はそのようなことはなくなった。その後、本省の倫理事務担当者による調査が行われ事情聴取を受けたが、同期は改心しているのであえて表沙汰にすることもないと思い、倫理規程違反の事実はないと証言した。この行為は、倫理規程に違反しない。	
9	利害関係者の依頼に応じて報酬を受けて講演をする場合、講演の内容が職務と関係ない場合には、倫理監督官の承認を得る必要はない。	
10	利害関係者が主催する創立記念パーティーに招待されることになった。当該パーティーは、ホテルの大広間において、マスコミ、取引先企業など120人以上が参加して行われ、着座形式だが座席は指定されていない。このようなパーティーで利害関係者から飲食の提供を受けることは倫理規程上問題ない。	